

〈専門領域名〉

眼 科

専門研修プログラム名	川崎医科大学附属病院眼科専門研修プログラム Ver.2																																	
連携施設群 (連携施設一覧)	川崎医科大学総合医療センター、倉敷中央病院、大阪赤十字病院、白井病院、日本赤十字社和歌山医療センター、倉敷成人病センター、兵庫県立尼崎総合医療センター、天理よろず相談所病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、国際医療福祉大学熱海病院																																	
募集定員数	各年次 4 名	研修期間	4年間																															
専門研修プログラムの概略	1. 専門研修プログラムの内容(概略)																																	
	<p>本専門研修プログラムは、網膜硝子体、斜視・弱視、神経眼科の各領域を専門とする当院を基幹施設とし、連携施設との緊密な協力のもと、眼科全般にわたる包括的な研修を提供することを目的としています。専門医取得に必要な知識、診療技能、手術経験を確実に修得できるように、段階的かつ実践的な研修体制を以下のように整備しています。1年目(初期専門研修):最初の1年間は当院において研修を行い、診断・治療・手術を含めた眼科臨床の基礎を体系的に習得するとともに、専門領域である網膜硝子体、斜視・弱視、神経眼科について深く学ぶ機会が得られます。2～3年目(選択研修):2～3年目は当院での研修以外に専攻医の希望に応じて専門研修連携施設での研修を行います。これらの施設では、common diseaseの診療や手術を通じて、眼科全般にわたる臨床経験を積むことができます。各関連施設においては、地域特有の医療や僻地医療などを非常勤的に経験する機会が設けられているため、地域医療への理解と貢献の意識を養います。また、この年次から大学院進学を希望することも可能で、研究と臨床を両立させたキャリア形成も支援します。いずれのコースを選択しても眼科専門医を取得するために必要な知識、技能、手術経験は十分に得ることができます。4年目(総仕上げ研修):4年目は再び当院で研修を行い、難易度の高い症例への対応や、学会発表、後進の指導を主体的に行える水準を目指します。教育目標と評価体制:専門知識・技能については、年次ごとの到達目標や経験すべき症例数を明確に定め、段階的に修得していきます。また医師としての倫理性・社会性、学術的姿勢についても研修期間を通じて継続的に指導を受けることができます。専攻医は眼科研修記録簿に研修内容を記録し、研修の評価はプログラム統括責任者、指導管理責任者(専門研修連携施設)、専門研修指導医、専攻医、専門研修プログラム委員会によって行われます。専門研修プログラム委員会は各職種で構成されており、修了後、</p>																																	
	2. 当専門研修プログラムの研修スケジュール																																	
川崎医科大学附属病院眼科研修プログラムローテーション表																																		
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">専攻医</th> <th style="width: 15%;">1年目</th> <th style="width: 15%;">2年目</th> <th style="width: 15%;">(大学院)</th> <th style="width: 15%;">3年目</th> <th style="width: 15%;">4年目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td></td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td></td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">②</td> <td style="text-align: center;">③</td> <td style="text-align: center;">①</td> <td style="text-align: center;">①</td> </tr> </tbody> </table>					専攻医	1年目	2年目	(大学院)	3年目	4年目	1	①	①		②	①	2	①	②		①	①	3	①	①	③	②	①	4	①	②	③	①	①
専攻医	1年目	2年目	(大学院)	3年目	4年目																													
1	①	①		②	①																													
2	①	②		①	①																													
3	①	①	③	②	①																													
4	①	②	③	①	①																													
① 川崎医科大学附属病院																																		
② 川崎医科大学総合医療センター、倉敷中央病院、大阪赤十字病院、白井病院、日本赤十字社和歌山医療センター、倉敷成人病センター、兵庫県立尼崎総合医療センター、天理よろず相談所病院、兵庫県立尼崎総合医療センター、国際医療福祉大学熱海病院																																		
③ 川崎医科大学大学院																																		
専門医に必要な要件の概略	<p>1)日本国の医師免許を有する者 2)臨床研修修了登録証を有する者(第98回以降の医師国家試験合格者について必要) 3)認可された日本専門医機構眼科専門研修プログラムを修了した者 ①専門研修を4年以上行っていること。②知識・技能・態度について目標を達成していること。③プログラム統括責任者が専門研修プログラム管理委員会の評価に基づき、研修修了の認定を行っていること。4)専門医試験に合格したもの。 http://www.nichigan.or.jp/news/sk_001.jsp</p>																																	
プログラム統括責任者	ふりがな 氏名	きむら しゅうへい 木村 修平	所属・ 役職	眼科・診療部長(教授)																														
プログラム担当者	ふりがな 氏名	かまお ひろゆき 鎌尾 浩行	所属・ 役職	眼科・医長(講師)																														
問合せ先	Tel: (086) 462-1111(代表) 内線(27503) E-mail: kmsganka@med.kawasaki-m.ac.jp		(部署名) 眼科学1教室																															